

## 生徒の主体性の引き出し方

東京都農業高等学校教育研究会

### I 団体の概要

東京都における農業高等学校教育の発展並びに農業教育の振興のため、教職員の研修の充実を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。

●本会は、東京都の農業高等学校の教職員、及びこの会の目的に賛同する者（個人会員）をもって構成している。

●本会は、教職員の授業力向上等を図るため、次の4つの部会を設けている。

- (1) 生物生産部会
- (2) 環境部会
- (3) 資源活用部会
- (4) 教養部会

●本会は、毎年3回総会を開いている。

総会は、原則として4月、8月、1月の長期休業中に開催する。  
令和7年度は以下の日程で開催している。

- ・ 4月12日（土）
- ・ 9月6日（土）
- ・ 1月10日（土）

### II 研究部会の活動

#### 【生物生産部会】

第1回研修会：令和7年7月3日（木） 22名参加

「JGAPに基づく農薬の管理・保管」

第2回研修会：令和7年12月5日（金） 14名参加

「生徒の主体性を引き出すための基礎とその授業づくり」

#### 【環境部会】

第1回研修会：令和7年8月29日（金） 11名参加

「造園CADソフトに関する技術研修」

第2回研修会：令和7年12月4日（木） 13名参加

「門松の制作について」

#### 【資源活用部会】

第1回研修会：令和7年7月3日（木） 20名参加

「養蜂に関する講義及び技術研修」

第2回研修会：令和7年12月3日（水） 24名参加

「食品の官能検査について」

#### 【教養部会】

第1回研修会：令和7年8月25日（月） 12名参加

「あきらめない心の育み方」

### Ⅲ 活動の様子と総括

【令和7年7月3日の資源活用部会の研修の様子】



【令和7年8月25日の教養部会の研修の様子】



生物生産部会、環境部会、資源活用部会、教養部会の4部会に分かれ、教員や実習助手の知識や技術を高めるための研修会を年7回実施した。都内農業系高校が協力し、生物生産分野では全農業系高校が取得しているJGAPに関してより実践的な技術研修などを、食品分野では講師の大学教授からより専門的な官能検査に関する講義と技術研修などを、環境分野では授業においても実際に利用されているCADソフトの操作について専門家の方から基礎から指導していただくなど、幅広く学ぶ機会を得ることができた。さらに、教養部会では陸上競技において世界で活躍する現役のアスリートの方から、何かに取り組む際の心の持ち方など、多様な生徒へのアプローチの一助となるお話を聞くことができた。

今後も新しい時代の多様な生徒の現状と将来につながるような農業教育の在り方に有意義な機会にできるよう、研修会を充実させていく。

### Ⅳ 総会

第1回総会：令和7年4月12日（土）

令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・予算計画、令和7年度担当部会確認

第2回総会：令和7年9月6日（土）

令和7年度事業計画・予算確認、令和7年度各部会から活動報告、講演（「蟲がつなぐ循環型農業の未来～昆虫利用と産学官の連携事例紹介～」）  
講師：東京農工大学・農学研究院 教授 天竺桂弘子氏

第3回総会：令和8年1月10日（土）

令和7年度会務事業報告、令和7年度会計報告（案）、各研究部会発表、講演「東京都の酒造会社による高校・地域との連携とその事例紹介」  
講師：石川酒造株式会社 製造部 部長  
杜氏 前迫晃一氏

・各回約60名参加

・令和8年度は都立農業高等学校が事務局となる。

（連絡先：042-362-2211）

### ＜令和7年度連絡先＞

団体名		東京都農業高等学校教育研究会	
代表者	所属	東京都立瑞穂農芸高等学校	
	職氏名	校長 大畑 哲也	
	連絡先	042-557-0142	
事務局	所属	東京都立瑞穂農芸高等学校	
	職氏名	主幹教諭 伊勢 博祥	
	連絡先	042-557-0142	
団体ホームページ	URL		二次元コード